

鉄器化以前

～八日市地方遺跡の鉄製鉈が語るもの～

会期

12月2日
まで

昨年、北陸新幹線建設に伴う八日市地方遺跡の発掘調査で、東アジア最古となる柄付き鉄製鉈(ヤリガンナ)が発見されました。

本展では、今から約2,300年前の弥生時代中期に小松の人々が鉄器とどのように関わっていたのかを紹介します。

柄付き鉄製鉈は、石川県埋蔵文化財センターから借用し、小松市埋蔵文化財センターにて展示公開中。



柄付き鉄製鉈
(石川県埋蔵文化財センター所蔵)▶

開館時間 9時～17時(入館は16時30分まで)

休館日 水曜日、祝日の翌日

観覧料 一般100円(20人以上の団体は80円)、高校生以下無料

※こまつミュージアム・パス利用可能

※障害者手帳をお持ちの人とその介助者1人は無料

関連行事

石川県埋蔵文化財センター開館20周年記念 講座 考古学最前線

鉄器招来

～八日市地方遺跡から
弥生社会を再考する～

とき 11月18日(日) 10時～15時30分
ところ サイエンスヒルズこまつ わくわくホール

受講無料
申込不要



【講演】

「東アジアの古代鉄文化」村上恭通(愛媛大学教授・東アジア古代鉄文化研究センター長)

【基調報告】

「弥生時代の石器と鉄器」^{ねぎた}禰宜田佳男(文化庁記念物課主任文化財調査官)

「柄付き鉄製鉈の発見!～八日市地方遺跡の最新成果～」林大智(石川県埋蔵文化財センター)

【パネルディスカッション】

「八日市地方遺跡出土柄付き鉄製鉈が語るもの」

コーディネーター/石川日出志(明治大学教授・明治大学日本古代学研究所所長)

パネリスト/村上恭通、禰宜田佳男、林大智、下濱貴子(小松市埋蔵文化財センター)

写真提供: 石川県埋蔵文化財センター

